

2024年度業務実施状況

電磁界情報センター

2024年度業務実施状況【情報調査G】(1/3)

1.情報収集・調査

1-1.国内外の電磁界関連情報(1次情報)の収集

- 【公的機関などによる発表】コンサルタント会社との情報配信契約による情報収集
- 【研究動向】ドイツ・アーヘン工科大学が運営する世界最大規模の研究情報データベースであるEMF-Portalと連携した幅広い情報収集
- 【社会動向】市民団体機関誌購読、イベント参加、コンサルタント会社との情報配信契約による情報収集
 - 公的機関などによる発表6件、研究動向105件、社会動向3件収集(7月末現在)

1-2.入手した1次情報の詳細調査

- 職員による文献調査、関係者インタビュー、現地調査などによる情報検証

2024年度業務実施状況【情報調査G】(2/3)

2.情報整理・評価

2-1.電磁界データベースの整備

- 引き続き、EMF-Portalとの連携により入手する情報の随時翻訳を行うとともに、
学術論文の整理・登録を実施 [【詳細説明1】](#)
- 国内外の電磁波関連公文書も継続的に登録

2-2.報道等の内容精査

- 新聞記事および最近出版された書籍を中心に、記事内容の関係者インタビューや
関係文献の調査を行い、結果の公表、報道機関への連絡等を実施

2024年度業務実施状況【情報調査G】(3/3)

3.磁界レベルに関する調査(磁界測定プロジェクト)

3-1.直流送電線から発生する静磁界の調査

- ・調査結果について、電気学会全国大会(2024年3月14~16日、徳島)、BioEM 2024(2024年6月16~21日、ギリシャ)で発表

3-2.ハンディファンから発生する磁界の調査

- ・調査結果について、第16回医用生体電磁気学シンポジウム(2024年4月24日、東京)、BioEM 2024(2024年6月16~21日、ギリシャ)で発表
- ・調査結果の概要をウェブサイトで公表予定

3-3.自動車から発生する磁界の調査[詳細説明2]

- ・2024年8月磁界測定を実施

3-4.スマートメーターから発生する電磁波の調査[詳細説明2]

- ・2024年4、5月磁界測定を実施

2024年度業務実施状況【情報提供G】(1/3)

1.情報提供ツールの整備

1-1.ホームページ

- 最新情報の提供
 - 更新回数13回(7月末現在):
[海外の動向6回、論文の紹介7回(新規論文数105)]
- 英語版ホームページのリニューアル
(デザイン検討中、2024年度公開予定) [詳細説明3]

1-2. SNSによる情報提供

- WEBセミナー、磁界測定器貸出サービス等の情報発信 [詳細説明4]

1-3. ニュースレター・メールマガジン

- ニュースレター、メールマガジンを継続的に発行
 - ニュースレター 年2回発行(通算70号)
 - メールマガジン 毎月発行

2024年度業務実施状況【情報提供G】(2/3)

2. 双方向コミュニケーションの実施

2-1. 問い合わせ対応

- 電話、メール、FAXによる電磁界の健康影響に関する問い合わせ対応
 - 340件(平均85.0件/月)(7月末現在) [【詳細説明5】](#)

2-2. 対象層特化活動(妊婦の知識啓発)

- 母子衛生研究会との連携による母子健康手帳副読本配布に併せたパンフレット配布及び母子保健関係者セミナー事業の継続実施 [【詳細説明6】](#)
- 「健やか親子21」参加団体との連携

2-3. 情報の媒介者を対象とした情報提供活動

- 学校保健・社会医学・看護学関連学会等でのランチオンセミナーの開催
 - 13件(4件実施済、予定9件)(7月末現在) [【詳細説明7】](#)

2024年度業務実施状況【情報提供G】(3/3)

2. 双方向コミュニケーションの実施(続き)

2-4. 依頼講演会

- 行政、団体、事業者、教育機関等からの講師派遣依頼への対応
 - 19件(4件実施済、予定15件)(7月末現在) [詳細説明8]

2-5. WEBセミナー

- 一般向けのWEBセミナーを継続実施
 - 6回(2回実施済、予定4回)(7月末現在) [詳細説明9]

3. リスクコミュニケーション促進活動

3-1. 磁界測定器貸出

- 低周波磁界測定器の貸出を継続実施
 - 94件(平均23.5件/月)(7月末現在) [詳細説明10]

3-2. EMFリスクコミュニケーションの国際協力

- 2023年4月に国際協力に関する覚書を締結した海外組織と共同でリスク認知調査の詳細検討を実施 6月にWEB調査を実施 [詳細説明11]

2024年度業務実施状況【管理G】

1. 賛助会員の維持・拡大に向けた取り組み

- 賛助会員(会費)について、ニューズレターやJEIC活動報告等による最新情報の提供、講演会等の機会を活用した賛助会員の募集により維持・拡大を図る。

2. 各種委員会の開催

2-1. 運営委員会

- 議論を中心とした年2回程度の開催運営

3. センター内教育の実施

- 転入職員に対するセンター内教育の実施

4. 国内外における学会発表

- 海外: 3件(国際生体電磁気学会)
- 国内: 2件(医用生体電磁気学シンポジウム、環境電磁工学国際シンポジウム)

詳細説明

1. EMF-Portal、電磁界情報データベース..... p.9
2. 磁界測定プロジェクト..... p.10～11
3. 英語版ホームページリニューアル..... p.12
4. SNSによる情報提供..... p.13
5. 問い合わせ対応状況..... p.14～17
6. 対象層特化活動(妊婦の知識啓発)..... p.18
7. 情報の媒介者を対象とした情報提供活動・・ p.19
8. 依頼講演会..... p.20
9. WEBセミナー..... p.21～22
10. 磁界測定器貸出..... p.23～24
11. EMFリスクコミュニケーションの国際協力・..... p.25

1. EMF-Portal、電磁界情報データベース

海外機関との連携（EMF-Portalへの参画）

- EMF-Portal参画（協定締結）：2014年9月 契約更新
（契約更改手続き中：2024.10.1から5年間の継続契約）

【EMF-Portalの概要】

運 営	ドイツ・アーヘン工科大学医学部病院 職業医学研究所生体電磁気相互作用研究センター (<i>femu</i>)
目 的	一般（研究者、政治家、医者、法律科、ジャーナリスト、及びその他関心のある人々全般）向けの電磁界関連情報データベース
規 模	登録件数（タイトルのみなども含む総情報数） 約43,060件の内、健康影響に関連する約8,210件の詳細情報掲載 （総情報は約100件/月、詳細情報は約20件/月で新規登録）
情報種別	生物学、疫学、工学、規制など
言 語	英語、ドイツ語、（JEIC参画後は）日本語
その他	登録情報数は世界最大規模

電磁界情報データベースへの登録状況

一般の方がより容易にアクセスできる「電磁界情報データベース」にも登録（18,428件[2024.7末時点]）

2. 磁界測定プロジェクト(1/2)

自動車 (EV、HV、ガソリン車) から発生する磁界の調査

IEC 62764-1に基づき低周波磁界を測定する。

【測定方法】

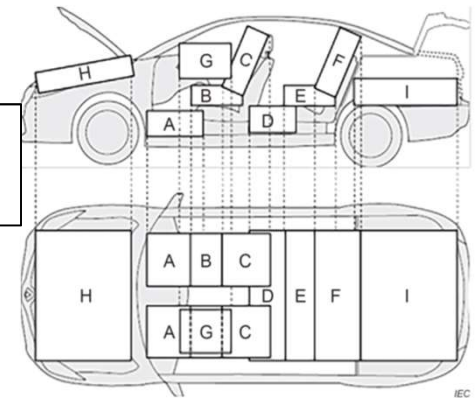
- テストコースでの実走行中の磁界を測定
- 以下の4つのモードで測定
 - ①: アイドリング状態
 - ②: 40±8km/hで、定速走行している状態
 - ③: 0～90km/hの間で、加速度 2.5m/s^2 以上で加減速している状態
 - ④: 充電中の状態(EV、PHEV)

【対象車両】

車両の大きさが同等の3車種選定[リーフ(EV)・プリウス(PHEV)・カローラ(ガソリン車)]

【進捗状況】

8月6～7日に城里テストセンター(茨城県)にて1回目の測定を実施。



IECで規定された測定箇所

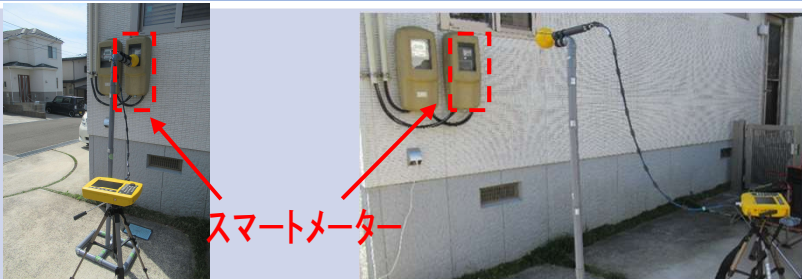


【今後のスケジュール】

9月9～10日に2回目、10月29～30日に3回目の測定を実施した後、結果を取りまとめ、2025年3月の電気学会全国大会で発表予定。

2. 磁界測定プロジェクト(2/2)

スマートメーターから発生する電磁波の調査

- ・ 設置状況が極力重複しないように、戸建、集合住宅(各戸設置箇所、集中設置箇所)にて測定した。

測定場所 (供給電力会社)	測定 建物	スマメ設置場所		設置状況・測定風景
宮城県 (東北電力NW)	戸建	各戸 設置	外壁設置 (カバーあり)	
東京都 (東京電力PG)	集合 住宅	各戸 設置	メーターボックス内 設置	
埼玉県 (東京電力PG)	集合 住宅	集中 設置	メーターボックス内 設置	

【今後のスケジュール】

10月17～18日開催予定の電気学会 電磁環境研究会(電子情報通信学会と連催)にて発表予定

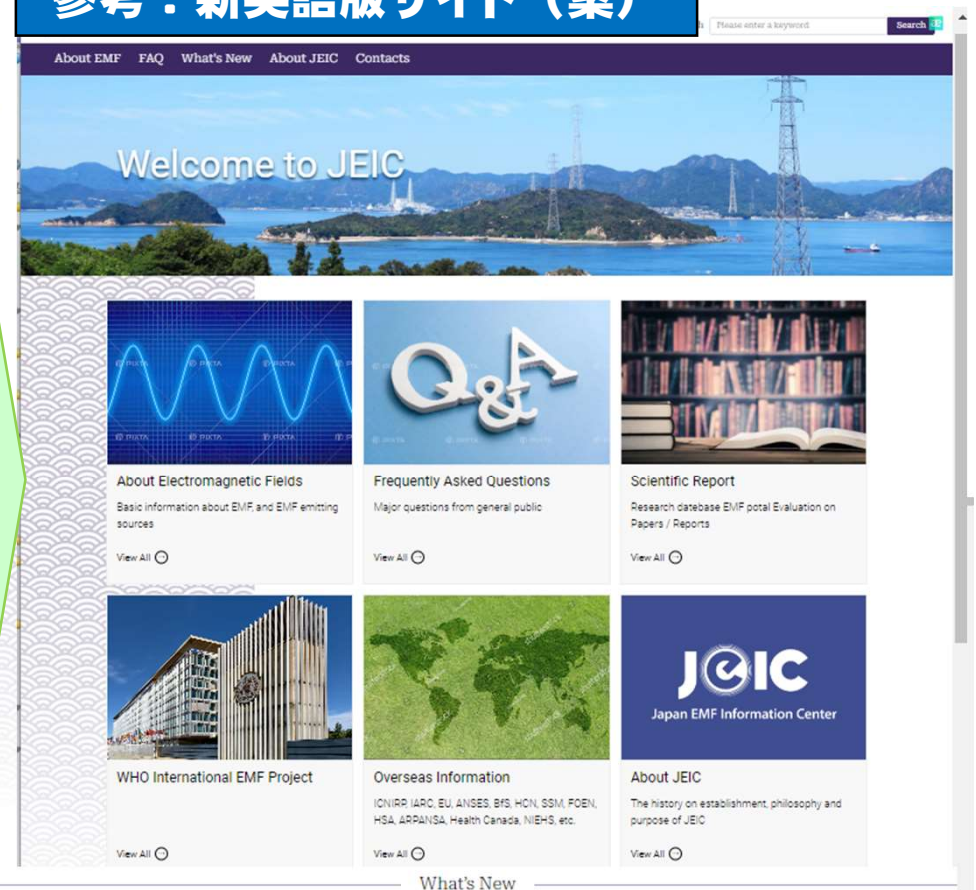
3. 英語版ホームページリニューアル

- 2023年3月『情報の見つけやすさ向上』を志向し、日本語版HPリニューアルを実施済。
- 日本語版HPリニューアル内容に準じ、英語版HPリニューアル作業中(各コンテンツの英語原稿作成、サイト公開準備中。2024年度中に公開予定)。

参考：現在の英語版サイト



参考：新英語版サイト（案）



4. SNSによる情報提供

- Facebook・X(旧Twitter)でWEBセミナー開催案内や磁界測定器貸出サービス、センター活動紹介などを積極的に情報発信している。更なる改善策を検討中。

実施状況（情報発信回数）

※ 2024年7月末現在

- Facebook
✓ 12回

- X(旧Twitter)
✓ 13回

Facebook (WEBセミナー案内)

電磁界情報センターさんがイベントを作成しました。
6月21日 · 🌐

日本は海外よりも
電磁波の規制値
がやっぱり甘いのか？
-健康影響と規制の関係を説明します-

オンラインセミナー
(参加無料)
【日時】
7月20日(土)
10:00 ~ 11:00

7月20日(土)
【無料Webセミナー】「日本は海外よりも電磁波の規制値がやっぱり甘いのか？ -健康影響と規制の関係を説明します-」
〒千105-0014 港区 (Japan・東京都) 東京都港区芝2-9-11 全日電工連会館3階
参加者1人・興味あり1人

Facebook (活動紹介 (依頼講演))

電磁界情報センター
作成者: 今村智宏
5月17日 · 🌐

5月16日、マレーシア原子力庁が主催する電磁界リスクコミュニケーションのイベントに参加して講演を行い、電磁界情報センターの活動と経験を紹介しました。
また、「技術の進歩と社会的関心のバランス：電磁界の今後」というテーマで、マレーシアの原子力庁および通信・マルチメディア委員会の当局長、およびブトラ・マレーシア大学産業医学部長とパネルディスカッションを行いました。

2件以上

X(旧Twitter) (活動紹介 (ラッシュン講演))

大久保 千代次 (電磁界情報センター) @chiyoji · 7月29日 · プロモーションする · ...

【第30回日本看護診断学会学術大会】
7月27日(土)、神戸国際会議場(兵庫県神戸市)で開催された第30回日本看護診断学会学術大会に参加し、電磁過敏症に関する講演を行い、WHOの見解を紹介しました。
電磁界情報センターでは、無料の依頼講演やWEBセミナーを行っております。↓
jeic-emf.jp/public/seminar/

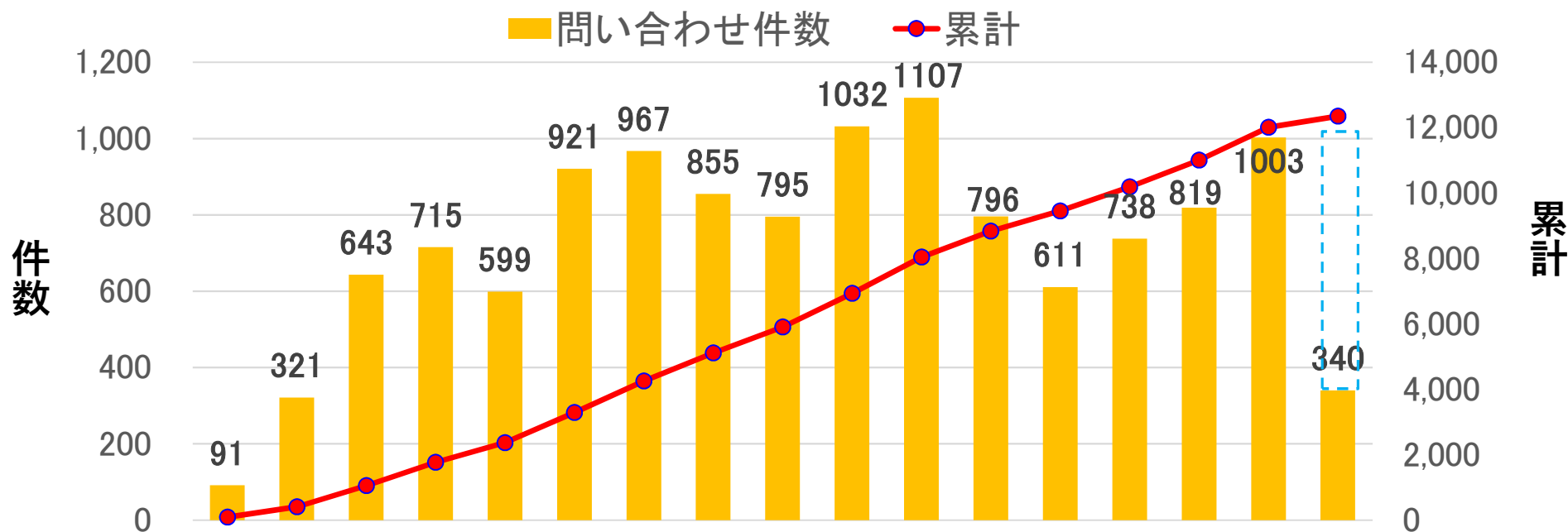
子明ハ云
Japan Society of Nursing Diagnosis
豊かな援助を導く
看護診断の未来
2024年
7月27日(土) ~ 28日(日)

5. 問い合わせ対応状況(1/4)

問い合わせ件数（年度別推移）

➤ 2024年度の問い合わせ件数は、昨年度(4月～7月末 323件)と同程度の見通し。

2024年7月末現在

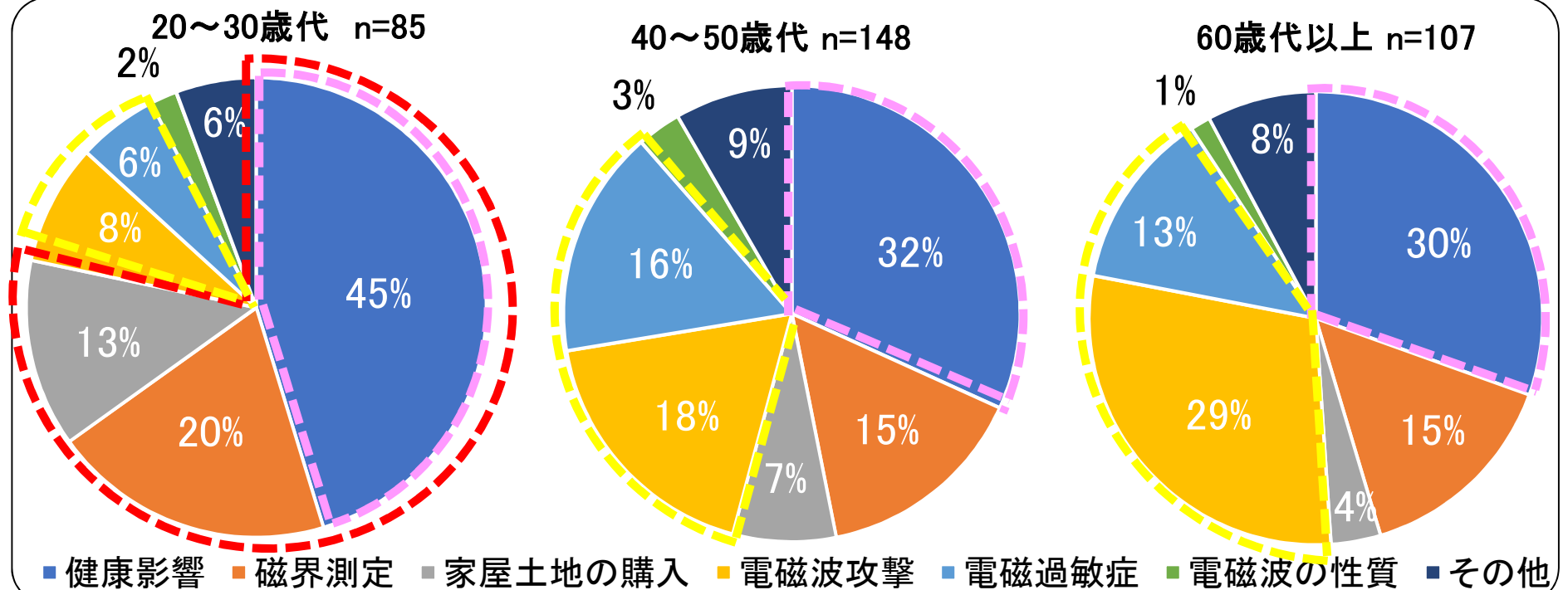
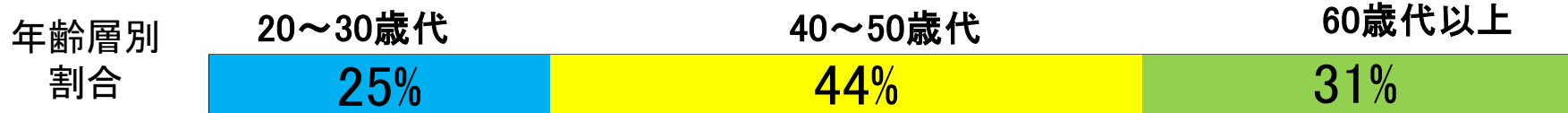


年度	2008 11月～ 3月	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
件数	91	321	643	715	599	921	967	855	795	1032	1107	796	611	738	819	1003	340
月平均	18.2	26.8	53.6	59.6	49.9	76.8	80.6	71.3	66.3	86	92.3	66.3	50.9	61.5	68.3	83.6	85

5. 問い合わせ対応状況(2/4)

- 問い合わせ年齢層は、40～50歳代が最も多く全体の44%を占める。
- 内容別は、全年齢層で健康影響が最も多い。年齢層別の特徴としては、30歳代以下では健康影響や磁界測定、家屋土地の購入が多い。全年齢層を通して、電磁波攻撃と電磁過敏症の割合が昨年同時期と比べ増加している。

2024年度 問い合わせ年齢層別割合(n=340)



※ 2024年7月末現在

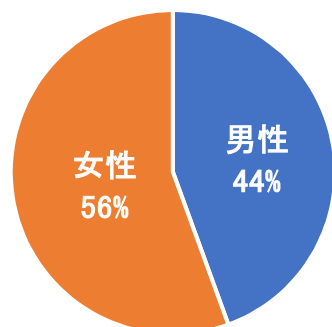
5. 問い合わせ対応状況(3/4)

- 全年齢層を通して電磁過敏症の問い合わせ割合は女性が多い、電磁波攻撃になると男性の割合が増えた

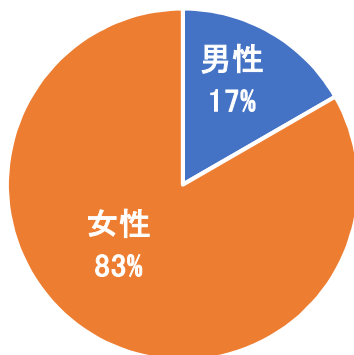
電磁波攻撃・電磁過敏症の男女比

20～30歳代

電磁波攻撃

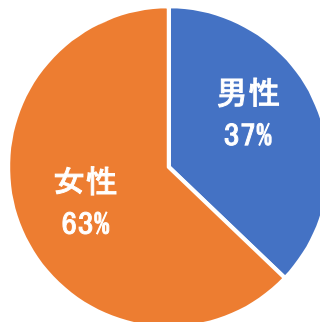


電磁過敏症

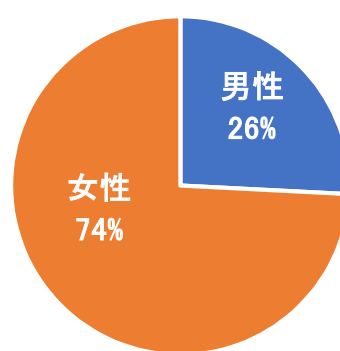


40～50歳代

電磁波攻撃

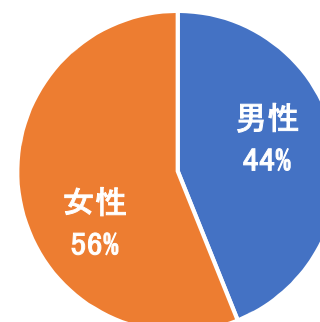


電磁過敏症

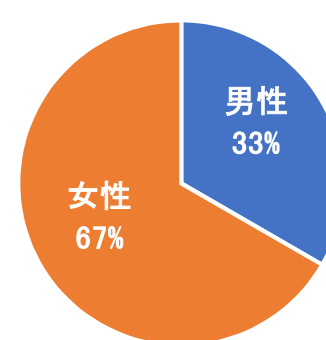


60歳代以上

電磁波攻撃



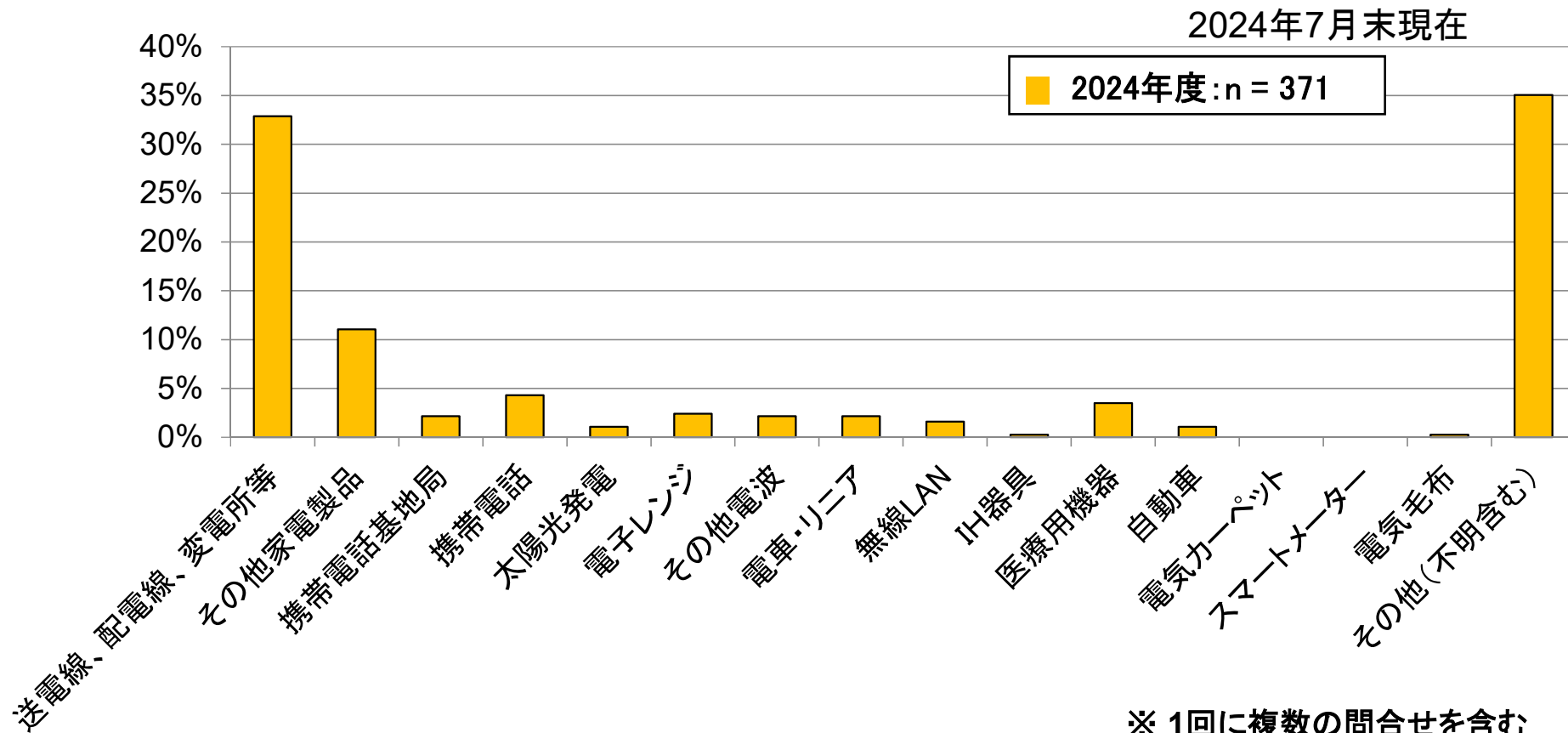
電磁過敏症



5. 問い合わせ対応状況(4/4)

発生源別（複数回答）

- 問い合わせの発生源は、昨年度と同じ傾向である。
- 電力設備に関する問い合わせの割合が多い傾向。



※ 1回に複数の問合せを含む
※ 2024年7月末現在

6. 対象層特化活動(妊婦の知識啓発)

- 妊婦はリスク認知が高くなることから、電磁波への過大な不安の払拭と正しい理解促進に繋がる知識啓発活動が重要であり、継続的に取り組んでいる。

母子衛生研究会を介した妊婦への知識啓発活動

- 妊婦向けパンフレット配布継続
 - ✓ 母子衛生研究会が、「妊娠期から知っておきたい赤ちゃん和妈妈のための電磁波のはなし」を母子健康手帳の副読本と併せて配布
 - ✓ 配布部数:68万部(2024年度)
- 母子保健セミナー(母子衛生研究会主催)
 - ✓ 10/7に仙台市で開催されるため講師派遣予定
 - ✓ 講演動画のWEB配信
- WEBセミナー開催案内(JEIC主催)
 - ✓ 妊婦・小さい子供を持つ親に向けて母子衛生研究会SNSで開催案内を発信

健やか親子21との連携

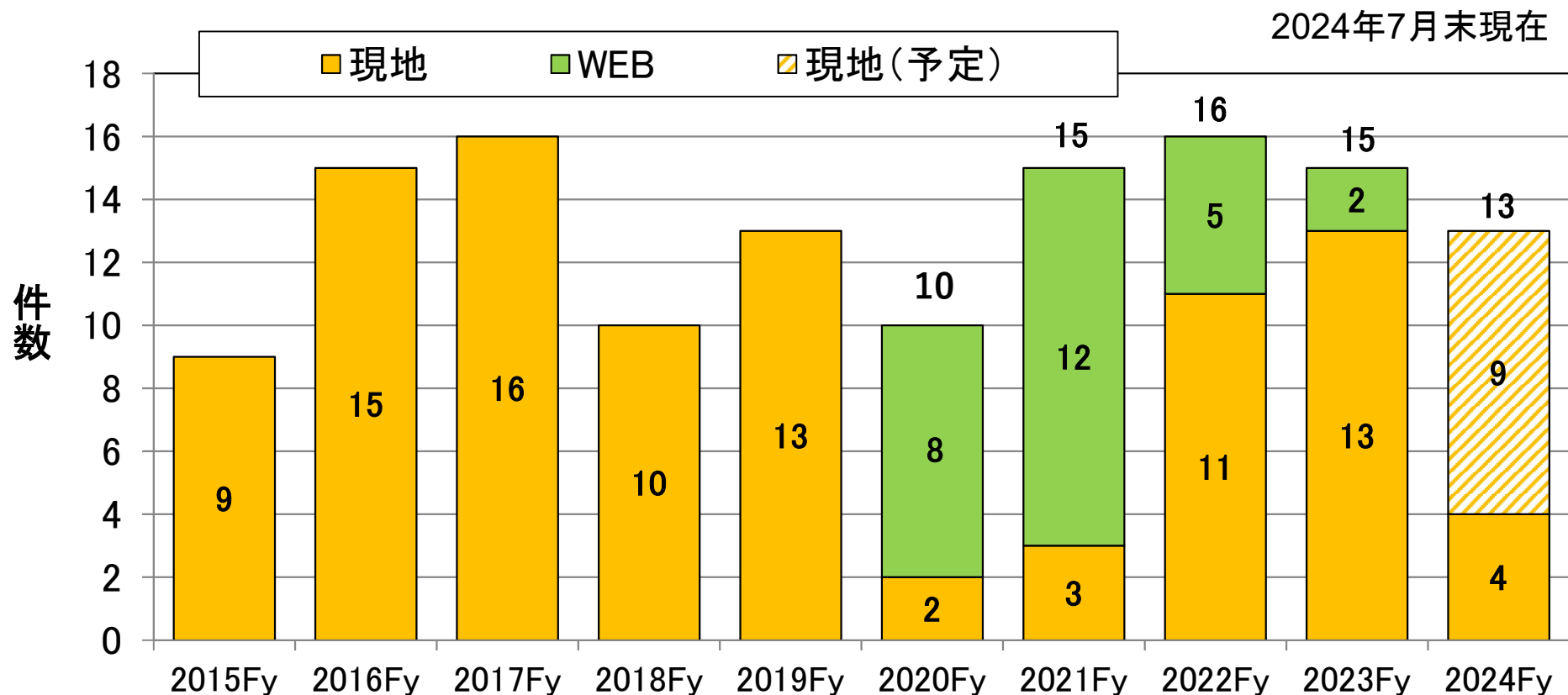
- WEBセミナー開催案内(JEIC主催)
 - ✓ 厚生労働省が推進する「健やか親子21」のメールマガジンやSNSで参加団体やメンバーに開催案内を発信



7.情報の媒介者を対象とした情報提供活動

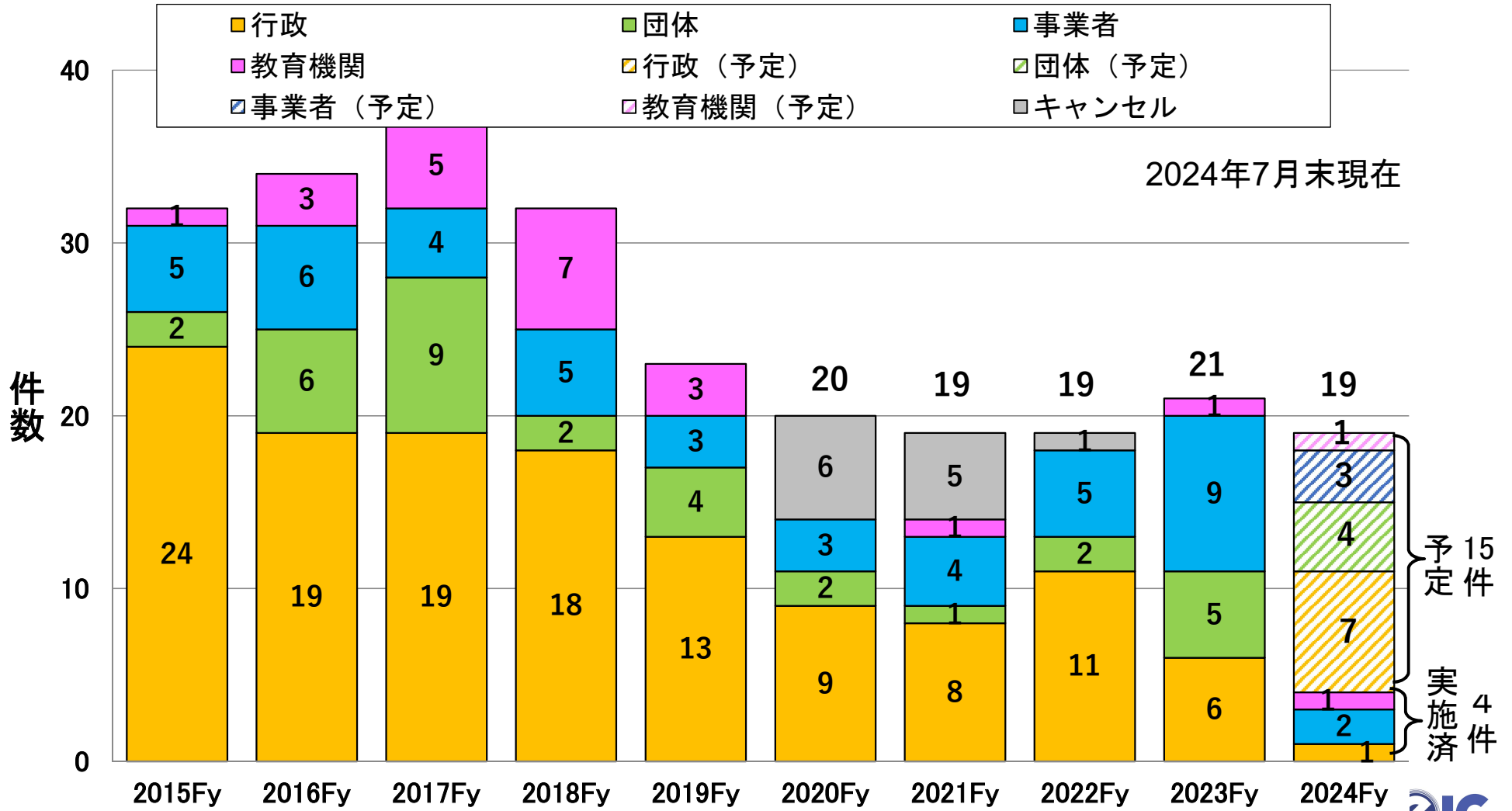
学校保健・社会医学・看護学関連学会等への参加状況

- 現地開催の学会等での講演、計4件を実施した。(今後の予定は9件)
- 参加を予定していた学会のランチオンセミナー公募が中止されたこと等により、計画から4件減少したため、代替件名を計画外で実施予定。



8.依頼講演会

- 行政、団体、事業者からの依頼講演は、4件を実施した。（今後の予定は15件）
- 今年度は、これまでにないランチョンセミナー参加者からの申込みが2件あった。同セミナーでは無料の勉強会講師派遣をPRしており、その効果があったものとする。



9.WEBセミナー (1/2)

- WEBセミナーは、6つの講演テーマ、奇数月開催で6回実施予定(2回実施済)。
- HP、チラシ、WEB広告、他団体SNS等で情報宣伝を行い、申込数は平均40名程度。
- 参加者からの要望に応え、セミナー動画を参加申込者に事後配信することを検討中。

実施状況 (7月末現在)

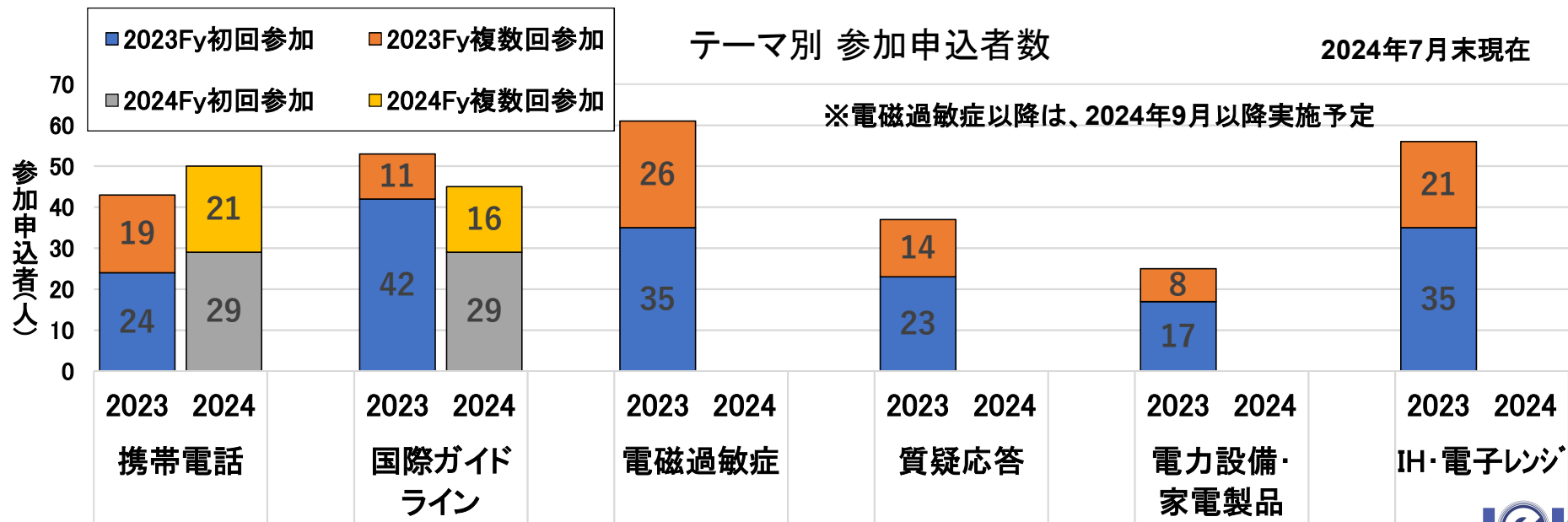
- 開催数: 2回
- 申込者: 95人
- 参加者: 61人

講演テーマ

- ① 携帯電話(高周波)
- ② 国際ガイドライン
- ③ 電磁過敏症
- ④ 質疑応答
- ⑤ 電力設備・家電製品(低周波)
- ⑥ IH・電子レンジ(中間・高周波)

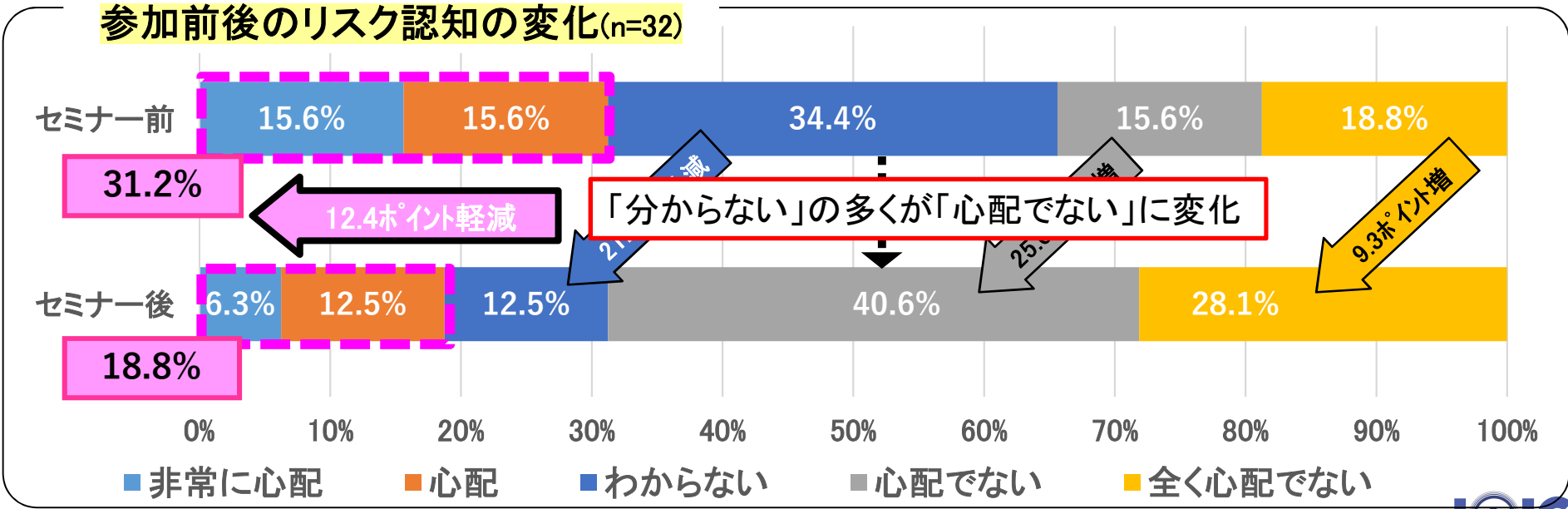
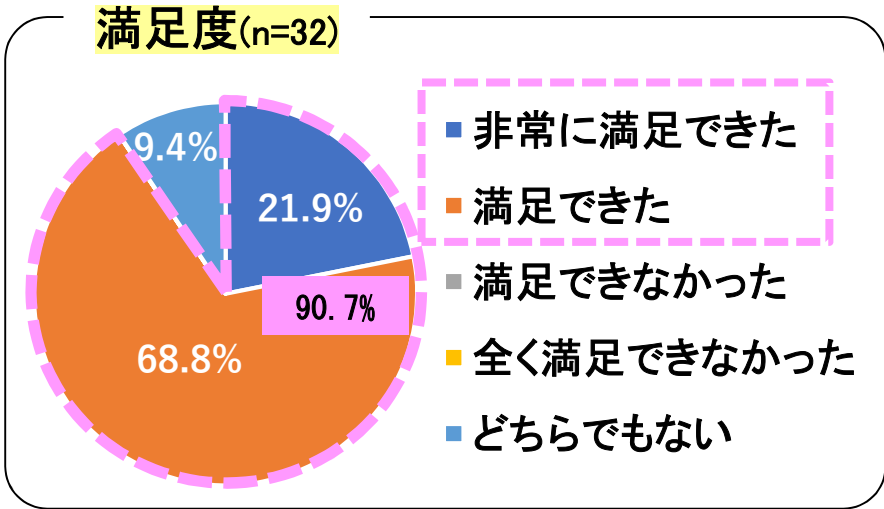
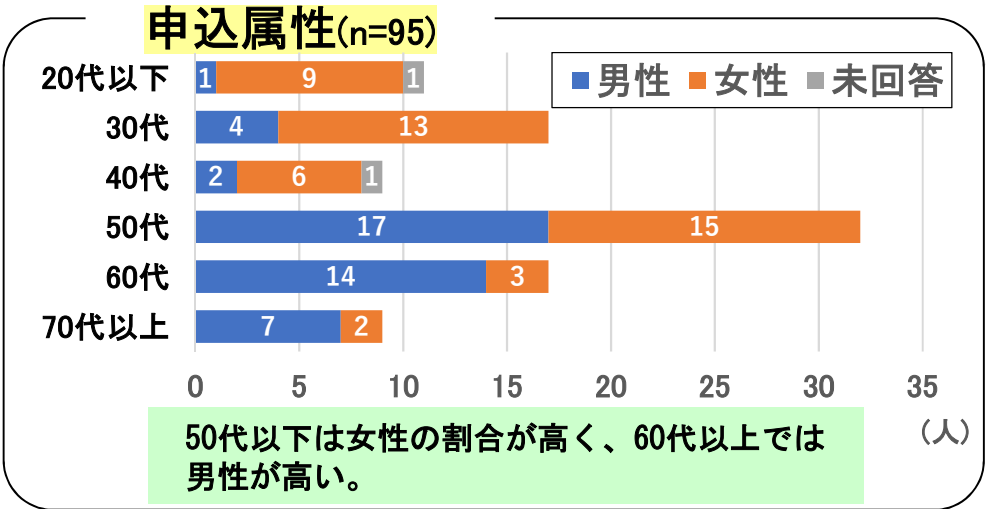
情報宣伝

- 電磁界情報センターHP、メールマガジン、Facebook
- チラシ(磁界測定器貸出時)
- WEB広告
- 他団体(母子衛生研究会等)のSNS等による開催案内



9.WEBセミナー (2/2)

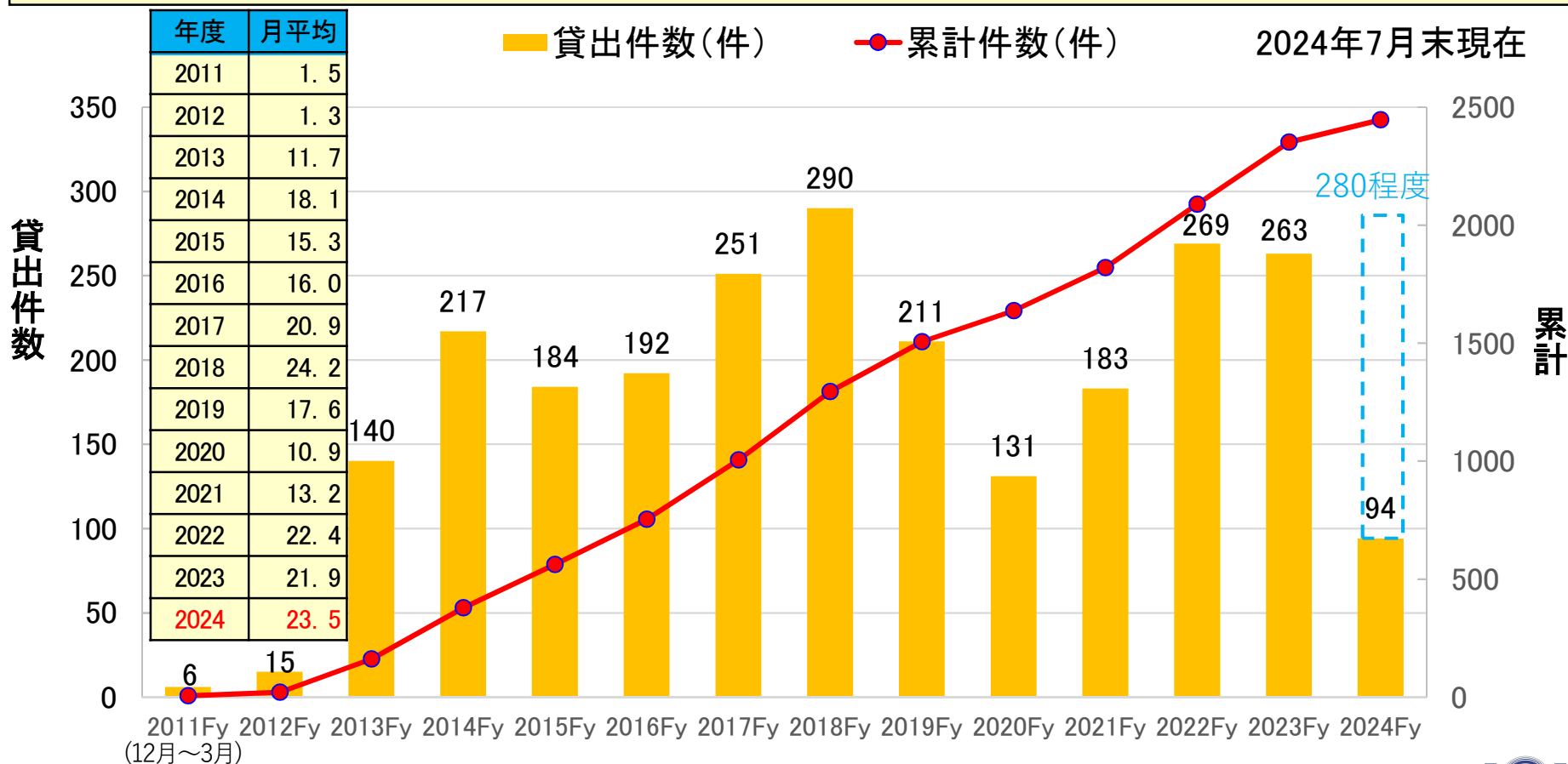
2024年度 (4月~7月末) アンケート集計結果



10. 磁界測定器貸出(1/2)

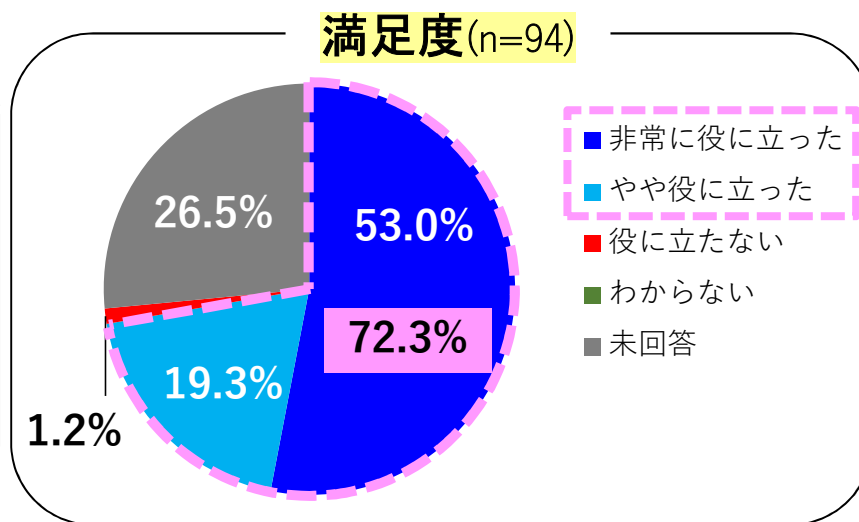
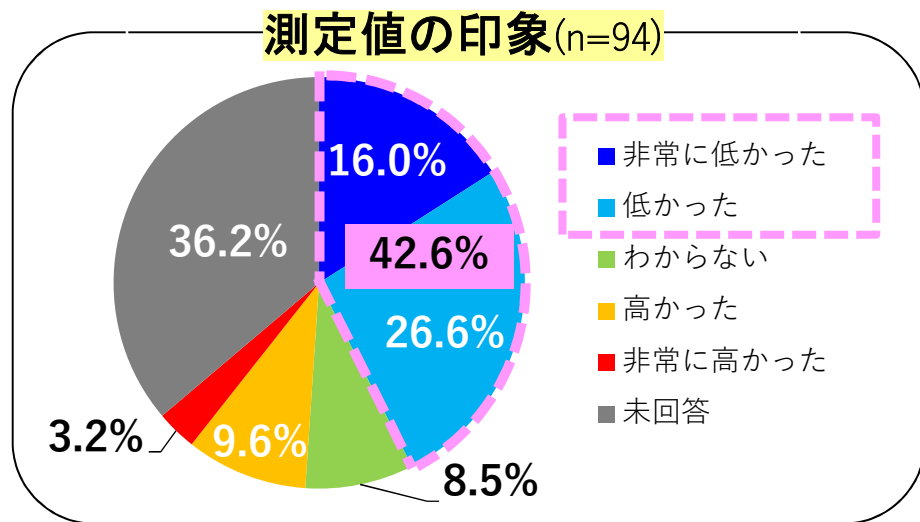
測定器貸出件数の推移

- 2024年度の貸出件数(94件)は、昨年同時期(86件)と比較し増加しており、年間約280件の見通し。
- 2024年度は土地・家屋の購入に伴う貸出しが多い。
[7月末時点で31件(昨年度同時期24件)]

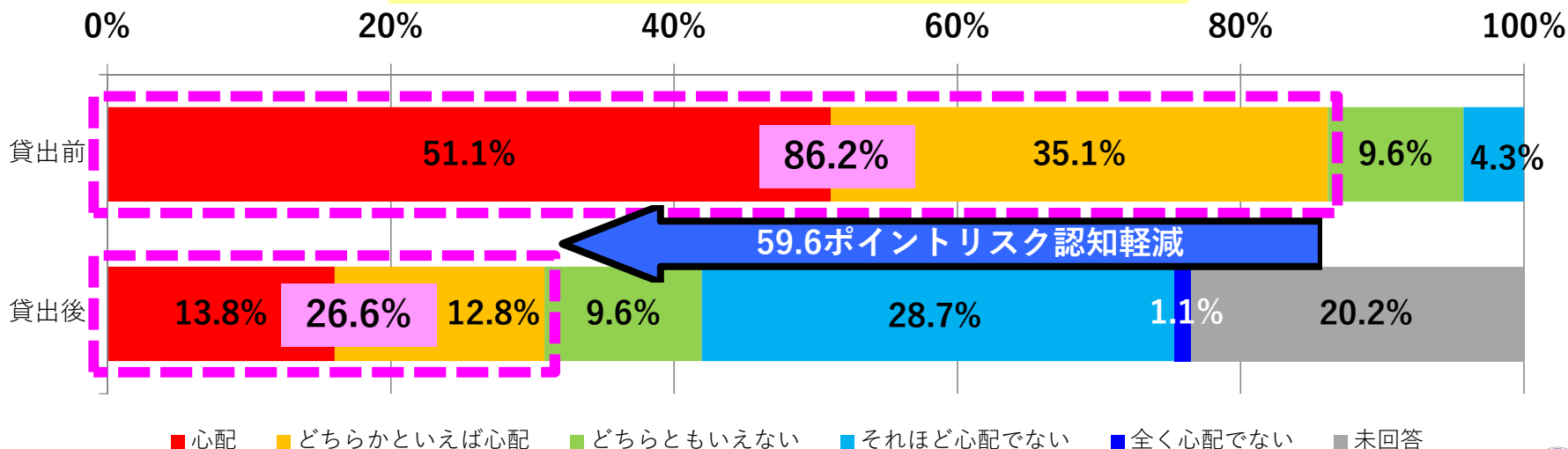


10. 磁界測定器貸出(2/2)

2024年度(4月~7月末)アンケート集計結果(返却完了分)



磁界測定前後のリスク認知の変化 (n=94)



11. EMFリスクコミュニケーションの国際協力

- 2023年4月にポーランド情報技術・電気通信会議所 (PIIT) と電磁気応用学会 (PTZE)、ドイツ連邦放射線防護庁 (BfS) の電磁界コンピテンスセンター (KEMF) と国際的協力体制に関する協定に合意した。2024年6月、同一の方法に基づいたリスク認知調査を実施。調査結果を分析中。
- 2024年5月DTP Solution Sdn. Bhd.、マレーシア原子力庁、マレーシア工科大学、マレーシア通信マルチメディア委員会共催の講演会「電磁波の専門家講演会：技術の発展と国民の不安への協調 (EMF Expert Talk: Technology Advancement and Reconciling Public Concern)」に出席後、マレーシア原子力庁と電磁界のリスクコミュニケーションに関する国際的協力体制構築について協議。
- 2024年8月シンガポール環境庁を訪問し、同協力体制について協議。



2024年5月
マレーシアの講演会



2024年5月
マレーシア講演会
のポスター